

5枚合紙が1ラインでできる



1



3



2



4



合紙後、同じ向きに重ねていると紙の反りができることがあるので、一定枚数毎に表裏逆にして積み上げる。こうした細かい気遣いが最終的な高品質につながっている。

巻取紙から合紙加工をする専用機。3本の巻取紙を使った3層の合紙機はあるが、中山商事では5本を一度にセットして合紙できる全国でも珍しい会社だ。セットされたロール紙は間に糊を塗って貼り合わせられ、熱と圧で密着させる。最後にセットした寸法に従って胴に付けられた刃でカットされて合紙完了。

トムソン抜きもこんなに大型



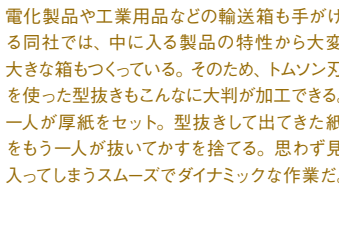
3



2



1



5



4

電化製品や工業用品などの輸送箱も手がける同社では、中に入る製品の特性から大変大きな箱もつくっている。そのため、トムソン刃を使った型抜きもこんなに大判が加工できる。一人が厚紙をセット。型抜きして出てきた紙をもう一人が抜いてかすを捨てる。思わず見入ってしまうスムーズでダイナミックな作業だ。

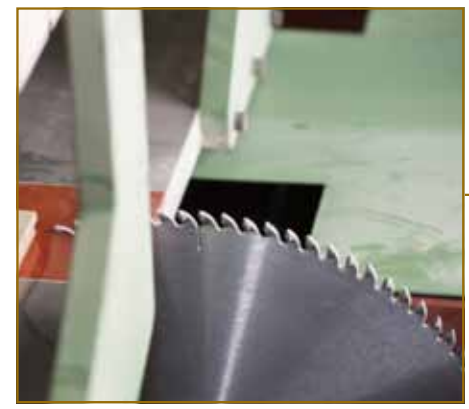
分厚い紙の加工が得意！

中山商事の紙加工

厚紙の加工を専門とする中山商事では、合紙、型抜き、Vカット加工、断裁などの紙加工を行っているが、薄物を得意とする会社とはひと味違う加工ばかり。合紙は一度に5枚を貼り合わせられるという全国でもあまりない機械を有し、日々厚物をつくり続けている。その加工の一端をご紹介します。

「元々、木工用のカッターなんですけど、それを紙用に変えて使っています」同社代表取締役社長 中山裕一朗さん
断裁機で無理な厚い紙を、3ミリなどの細かい幅でも切ることができるのだ。

切るの加工
10mm厚でも
なんのその
ノコ刃カッター
文/編集部 写真/弘田充



木工などにつかうノコギリ刃がついたカッターを特注して紙用に使用。



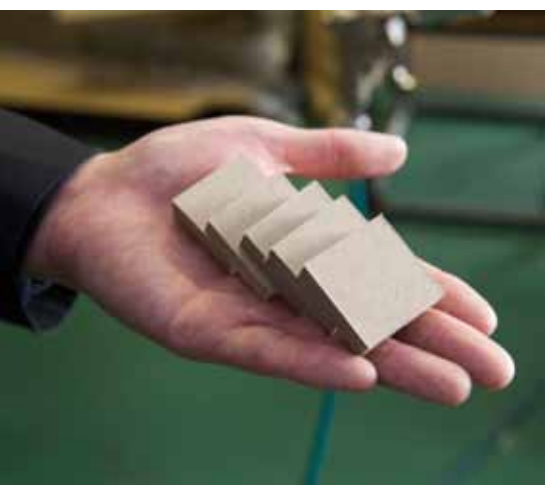
円型のノコギリ刃が回転して移動し、紙を切る。



中山商事 代表取締役社長 中山裕一朗さん

中山商事が企画・製造・販売している「きょうりゅうしょうぎ」は、右写真の9枚合紙して厚さ10mmほどにした板紙を、33mm角にノコギリ刃で断裁し、その後シールを貼って仕上げた駒を使用している。

問い合わせ先
中山商事株式会社
福井県福井市高木中央2-509
TEL.0776-53-8000
info@nakayama-shouji.jp
http://www.nakayama-shouji.jp/



板紙を9枚合紙して10mmほどの厚みにした紙をノコギリ刃でカットしたもの。断面も大変にきれい。